



《24. 1. 31 第189号》

健民運動 かわら版



<水 仙>

発行:石川県健民運動推進本部
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民交流課内
TEL 076-225-1365

ホームページ

健民運動

検索

(E-mail) kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

～毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族とのふれあいを大切にしましょう～

鼓 動

1 3代藩主が宿泊した岡部家

石川県読書会連絡協議会

輪島市立図書館読書会 会長 藤平 朝雄

青少年健全育成活動の推進

◇第14回子どもドリームフェスティバル

◇青少年ボランティア賞表彰式

◇「みんなのありがとう」作文コンクールの作品紹介その2

環境・文化活動の推進

◇子どものための省エネ・リサイクル推進クイズ大会

健民運動カレンダー

健民運動活動紹介・奨励コーナー

◇県青少年育成アドバイザー協会の活動報告

県民ボランティアセンターだより

薫 風

「石川こども芸術祭2011」に参加して！

石川県リズムダンス協会 会長 太田 章子



1.13(金)健民運動青少年ボランティア賞表彰式記念写真

鼓 動

13代藩主が宿泊した岡部家

石川県読書会連絡協議会

輪島市立図書館読書会会長 藤平 朝雄

石川県読書会連絡協議会では、中心的行事として例年秋に県内各地の読書グループ会員が参加して行う「本を読む仲間のつどい」を、能登地区、加賀地区の2会場で開催している。今年で38回目になる。

例年、会の終了後、文学散歩を兼ねた現地見学会も行っている。能登地区大会終了後、県指定有形文化財で、いぶし銀の風格をにじませる茅葺きの建物と、庭園が見事な「加賀藩十村役 岡部家」を特別拝観させていただいた。



<岡部家：宝達志水町>

時は、15年後に明治維新を迎える嘉永6年(1853)4月23日(現在の5月下旬頃)、13代藩主の前田斉泰が、能登巡見の折に岡部家に一泊した。700人余の随行者を連れた藩主の巡見は、金沢城を出てから外浦―能奥―内浦の順で、半島をぐるっと一巡した。全行程は480kmで、22日間を費やした。その20日目に、藩主の宿泊本陣となったのが岡部家である。

当時、幕府は諸外国から国交を迫られ、神経を苛立たせていた。海を抱える諸藩の大名に対し、「藩主自らが領国の沿岸を視察せよ！」との通達を出していた。能登の沖でも不審船を見たという住民からの情報が、藩にもたびたび寄せられた。藩主の能登巡見は、そんな背景の中で行われたのである。

270年近く続いた藩政期の間、14人いた藩主の能登視察で巡歴したのは、後にも先にも、この折の一回、一人だけというのも信じがたいほどだ。

当時、藩の経済は極度に疲弊しきっていた。巡見経費を最小限に抑えるべく、藩は、近年「武士の家計簿」で注目を浴びたそろばん侍の猪山直行を、この巡見に同行させていた。日頃は厳しい年貢の取り立てに喘ぐ能登の住民たちも、藩主の尊顔を一目見ようと、多くの人が行列見物に出かけたという。

巡見の主目的は、台場(大砲の設置場所)や御蔵、遠見番所や武器庫などの海防視察である。巡見を済ませた藩主は、岡部家ではゆっくりと寛いだ。近くの子浦村に住む治郎左衛門が所有する土佐絵の金屏風なども持ち込ませ、終始機嫌よく鑑賞したり、預所(天領)の村々の駒見聞も、岡部家の前で藩主自らが手綱をとって行ったという。また、当家の庭が気に入った藩主は、早朝から下駄を履いて庭園散策を楽しまれたとか。



<岡部家庭園>

藩主が泊まった奥座敷には、今も使用した座布団や調度品が展示されている。

青少年健全育成活動の推進

◇第14回子どもドリームフェスティバル

1月15日（日）午後1時30分より県立音楽堂邦楽ホールにおいて、県・健民運動推進本部主催の上記フェスティバルが開催されました。

県内54件の応募の中から選ばれた6団体の子どもたちが、昨年の夏からそれぞれの夢の実現に取り組んだ成果を、約200人の観客の前で発表しました。

発表に先立ち健民運動推進本部長である谷本正憲県知事が挨拶し、夢の実現に向けて努力してほしいと激励したほか、実行委員や保護者の方々に感謝の言葉を述べました。



<挨拶をする谷本知事>



<邦楽ホール入場口>



<邦楽ホール2階ロビー・ホワイエ>



<出番ですよ～>

翌日16日から26日までの期間、県庁行政庁舎19階展望ロビーで、6つの団体が県邦楽ホールロビー・ホワイエで展示した作品を展示して、多くの県民に見てもらいました。



<パンフレット>

1 みんなで作る夢カレンダー（能登町立上町保育所すみれ組）



写真左
舞台袖で知事と…
出演前の緊張が和らぎました。



写真右
インタビューにも
こたえられました。



写真左
12人のなり
たい夢の衣装で
歌とダンスを披
露しました。

2 震災や津波に備えて地域の防災計画をつくりたい（能登町立小木中学校生徒会）



1854年発生した安
政南海地震のあと、
津波の到来を予想し
た村の庄屋は、貴重
な稲むらに火をはな
ち、村人を高台に誘
導した物語を題材に
寸劇をしました。



2011年3月の東日本大震災のような地震が日本
海側で発生したら、同じリアス式海岸に立地す
る小木地区は大きな被害を受ける可能性があり
ます。生徒会主体で5メートルの津波が来たこ
とを想定し、避難訓練やハザードマップ作成な
ど、地域の方々と一緒に取り組んできたことを
発表しました。



3 わたしたちの里山 笠野の森をリフォームしたい

（津幡町立笠野小学校3・4年複式学級）

学校にある荒れた「笠野の森」をリフォーム
したいと思い、計画を立て、樹木について
学習し、実行委員会の方々の力を借りて整備
できました。

地域の保育園児を招いて、森で音楽会を開
いたり、森の秘密基地で楽しみました。これ
からも笠野の森を大切に守っていきたくて発
表しました。



TV番組風にわかりやすくプレゼンできました。



4 自分たちで手作りのお茶会を開きたい

(野々市市立布水中学校茶道部／TKグループ)



茶道部と小学生のグループがコラボして和菓子作りやチャリティ茶会を催し、収益金を東日本大震災被災地の中学校へ送ったことなどを発表しました。
舞台上で立礼席のお手前も披露して、お茶会の雰囲気表現しました。
終わりに、小学生の新開君がお礼のことばを言いました。

5 和太鼓で、震災被災地から避難してきた人たちを励ましたい

(和太鼓サークルバンブー)



十一屋小学校の児童が中心となって作るグループです。

被災地から避難してきた友人を励まそうといろいろな場で演奏会を開きました。

今回は、「元気だそう！和太鼓で」を合い言葉に心を込めて演奏しました。

太鼓と一緒に笛と鉦(か)は実行委員会のメンバーが演奏してくれました。

6 カラー魚拓を作りたい (Mi3グループ)



中学校の釣り好きな仲間と釣りだけではなく「カラー魚拓」にも挑戦したい！と取り組みました。
魚拓の先生に指導をお願いして自分たちの作品を作ることができました。
投げ竿の使い方も習い、海釣りを楽しむことができました。

◇青少年ボランティア賞表彰式

1月13日(金)、県庁行政庁舎で標記表彰式が行われ、谷本正憲健民運動推進本部長(県知事)から7団体と1個人に賞状と楯が贈られました。知事は受賞者に、「東日本大震災の被災地では、ボランティアの方々が貢献しました。一人ひとりの活動は小さいが、支え合い助け合う地域の絆を維持するためにもこれからもボランティア活動を続けてほしい。」と激励しました。

表彰式後、受賞者たちは、活動紹介やボランティアをとおして学んだことなどについて知事との懇談を行いました。懇談の内容を紹介します。



<受賞者を励ます谷本本部長>



<会場の様子>



左から本田選考委員、竹森選考委員、三国副本部長、谷本本部長、
香村選考委員長、宮口選考委員、木谷選考委員



<笑顔で懇談の知事>

1 金沢市立伏見台小学校ボランティア委員会



左から杉本校長と委員会代表3人

今までプルタブを福祉作業所へ、ペットボトルキャップをエコキャップ運動に役立てています。回収に協力する子がどんどん増えているし、地域の方々も協力してくれています。自分たちができること、思いやり、優しさを広めていきたいです。

知事：平成11年からの活動だからあなたたちが生まれた年から活動しているのですか。あとの児童に引き継げそうですか。
回収したものは、お金に替えられるのですか。
児童：はい、引き継いでもらいます。
お金ではなく、ワクチンに替えるのです。大体1年間でワクチン250人分です。
知事：これまでに2500~3000人分提供してきたのですか。いずれ、みんな大人になって、一度外国へ行ってどういう国のどういうお子さんに提供されているのか調べてみる
といいね。
児童：はい、わかりました。

2 七尾市立天神山小学校児童会

私たち6年生は、通学路のゴミ拾いと危険な場所を発見したりしています。毎回ゴミが落ちているので町をきれいにするのはとても難しいことだと思いました。保育園の近くにタバコの吸い殻が落ちているのでポイ捨てをしないでほしいと思います。



左から加賀教諭と児童会代表の2人

これからも矢田郷パトロール隊と一緒に参加したり、パトロールのない日でもすすんでゴミ拾いをして、きれいな町にしたいです。

知事：ゴミは、見つかりにくい所にあるね。良心がとがめるから見つかりにくい所、拾いにくい所に捨てるんだね。大人はけしからんね。
児童：はい、そう思います。
知事：これからも活動を続けてください。

3 加賀市立緑丘小学校児童会

私たちの先輩は、ふるさとの海のお世話になっているので少しでも恩返しをしようと昭和63年から海のクリーン作戦という塩屋海岸のゴミを回収する活動を全校児童で始めました。外国から流れ着いたゴミや注射器など危険なゴミもありますが、きれい



左から荒木教諭と児童会の代表2人

になった海岸を見ると気持ちがいいです。低学年はゴミ分別の勉強にもなります。

20年以上続いている活動なので受け継いでいってほしいです。

知事：この活動はナホトカ号の重油が漂着する前からやっているのですね。今は、きれいな塩屋海岸だが、当時はきれいな海を取り戻せないのではと思われた。私たちは、重油回収の大変な思いを体験で憶えているが、あなた方は、歴史でしかわからんね。ナホトカ号重油流出事故は学校で習いましたか。

児童：はい、習いました。

知事：3月で卒業だね。バトンタッチをしっかりとね。あとの児童に引き継げそうですか。

児童：はい、できます。

4 金沢市立兼六中学校生徒会



左から生徒会代表3人と井表教諭

兼六中学校では、10年以上にわたって古紙回収を学校全体で積極的に行っています。毎回参加率は100%です。この活動をとおして生徒一人ひとりが限りある資源を大切にしようとする心が育っています。今後も継続していきたいと思っています。

知事：古紙ってどれくらい集まるの。古紙って何。

生徒：前期から後期の6回で1トン、集まります。古紙は、新聞と牛乳パックです。

知事：1トン集めるとどれ位のお金になるの。

生徒：はい、大体3トンで1万円です。お金を貯めて学校に冷水器を購入しました。

知事：これまでに冷水器は、何台購入したの。

生徒：2台です。今年の春くらいにもう1台をと考えています。

知事：その水はおいしいか。

生徒：部活の後に飲むと大変おいしいです。

5 県立田鶴浜高等学校

全校で募金や田鶴浜駅の清掃、各種イベントでの活動を行っています。衛生看護科では、健康に関する啓発活動として健康チェックや病院での車の保守点検、災害を想定したトリアージ訓練



左から渡邊教諭、生徒代表2人と南校長

に参加協力をしました。健康福祉科では、福祉施設で様々な活動を行っています。私たちはボランティアをとおし、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方々について多くのことを学ばせていただきました。

知事：看護師、介護福祉士を養成する学校だから、事前勉強という意味合いもありますね。学校はいかがですか。田鶴浜高校は全寮制ですか。

生徒：いいえ、金沢や加賀からの生徒が入寮します。

知事：あなたたちは、通学生。

生徒：はい、そうです。

知事：看護師、介護福祉士としてやっていけそう。自信ある。

生徒：はい、あります。

知事：能登は高齢者が多いので、あなたたちのような方が必要になります。是非、能登の高齢者医療・福祉のためにがんばってください。

6 金沢大学能登見守り寄り添い隊 灯（あかり）



左から金沢大学田中研究者と学生代表3人

灯は、2007年の能登半島地震をきっかけに結成された学生グループです。足湯を中心に輪島市、金沢市、岩手県の陸前高田市で活動を行っています。足湯をすると体も心もリラックスす

るので、仮設住宅の悩みや不安について話していただきます。私たちは、被災された方々に少しでも心安らぐ時間を過ごしてもらいたいという思いで活動しています。

知事：行政は、避難所での食事や飲料水の提供とか仮設住宅の建設などの支援はできるが、なかなか被災者の気持ちの中まで入ることまで手が回らない。もちろん、がれきの片付けをしたりといった活動もあるが、被災者の気持ちに寄り添う活動は大切ですね。できるだけ、気持ちを理解してあげて精神的な支えとなってあげてください。3人とも東日本大震災にも行かれたんですか。

学生：はい、行きました。

知事：皆さん、大学4年生だから就職して、それぞれの地域のために頑張ってください。

7 ボランティアサークル「あすなる会」

私たちは毎月第4土曜日に宝立町の「長寿園」でお年寄りとのふれ合い活動を行っています。私たちは、5年生



左から珠洲市立宝立小学校6年生の児童6人と橋元校長

から参加していますが、あすなる会は17年間続いているそうです。お年寄りの方には耳の遠い方もいますので、伝えあいがかうまくいかないことがあります。言葉にならなくとも何かが伝わっています。

知事：あすなる会は、17年間続いているんだ。5～6年生から大人まで入っているの。今日は小学生だけ来たの。全体で何人いるの。

児童：27人です。6年生7人、5年生2人、中学生8人、高校生2人、大人8人です。

知事：皆さんは2年間活動しているわけで、3月は卒業ですね。中学生になってもやるの。

児童：はい、やります。

知事：是非、これからも続けてください。



左から高川さんと
内金城大学准教授

8 個人賞 高川 由佳さん(金城大学社会福祉学部3年)

私は、白山市美川町で行われている通学合宿に参加したり、白山市民ボランティアとして岩手県陸前高田市に行かせていただきました。通学合宿は、小学生の子どもたちが公民館から学校に通学します。私たちは地域の方と協力しながら子どもたちをサポートします。私は、残り1年の学生生活を人との関わりを楽しみながら活動していきたいと思っています。

知事：通学合宿は寝泊まりしながら小学校へ通うのですか。

高川：はい、公民館で4泊5日です。

知事：親元を離れて5～6年生を逞しく鍛えようということですか。交流し合うことの大切さを集団生活で体験させるわけだ。昔からやっているの。

高川：美川町では10年目です。

知事：いいことだね。子どもたちは逞しくなるね。お互いわがまを言っていては地域社会が成り立たなくなることを体験できる。これからも是非続けてください。

高川：子どもたちも関わりから学ぶことが多くあります。私たちも勉強になる機会です。

知事：学生生活もう1年頑張っていていい保育士になってください。

◇「みんなのありがとう」作文コンクールの作品紹介その2

今月号は、佳作の7点を紹介をします。

みやたゆうあさんへ

ゆうあさん、いつもいっしょにあそんでくれてありがとう。
やすみじかんに、マラソンしたりとしよしつでほんをかりたりプレイルームであそんだりしてたのしいな。

1ねんせいのなかでもゆうあさんのことがすきだよ。
まいにちけんかをしないでなかよくあそぼうね。

6ねんせいまでおたがいがんばろう。あかあさんになっても、ばあちゃんになってもなかよくあそんでね。



七尾市立能登島小学校 1年 森本 真央

おかあさんへ。

いつも学校からかえってきたら、「おかえり」って言って、ドアをあけてくれてありがとう。おいしいおやつをよういしてまってくれてありがとう。いっしょにしゅくだいをしてくれてありがとう。おはなしをいっぱいきいてくれてありがとう。

これからもずっとげんきでいてくださいね。

だいすき。



お母さん（おばあちゃん）へ

ママからも、いつもありがとう。楽しいお仕事を続けられるのも、子どもたちの元気な姿やかわいい笑顔が守られているのも、全部お母さんのおかげです。

私にはできないようなことが、いっぱいできるすごいお母さん！うちのお母さんの娘と孫に生まれてきて本当によかったよ。お母さん、いつも幸せをいっぱい。ありがとうね。

川北町立中島小学校 1年 岩田 涼花

わたしは、1年生のときから、学童『たがみっこクラブ』にかよっています。だれ1人知らなかったわたしは、いつも1人でいました。友達もつくれず、いつも指どう員たちにあまえてばかりいました。でも、みんなは、わたしを仲間にしてくれました。きょうだいにしてくれました。わたしにとっての、お兄さん、お姉さん。それから弟、妹。そして、いつもあたたかく見守ってくれる指どう員たちのおかげで、今ではわたしも、きょうだいの一員。もしかすると、きょうだい全員は、わたしのなかでは、いつのまにか、かけがえのない家族になっていたのかもしれませんが。今でも、人づきあいのうまくないわたしは、なぜかみんないると、しぜん笑顔になれます。それは、まほうでもなんでもなく、みんなの力と、みんなの笑顔があるからです。笑顔であふれているこの『たがみっこクラブ』は、私をいつも元気にしてくれます。

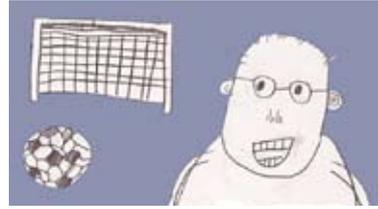


わたしの誇り、『たがみっこクラブ』のひるまのきょうだいたちに、ありがとう。そして、これからもよろしく。

金沢市立田上小学校 5年 香川 万葉

おとうさん、いつもしごとでがんばってくれてありがとう。

おとうさんがいつもしごとでがんばってくれているからぼくが生きていられんだね。なかなかあそべなくてちょっとさみしいけど、いっしょにいるだけでしあわせだよ。ときどきおこってちゅういするけど、おかあさんがいない時にごはんをつくったり、せんたくをしてくれてありがとう。ごはんを作ってくれたおかげで、ぼくは大きくなりました。おとうさんまたサッカーしようね。いつもやさしくてかっこいいおとうさんでいてね。たまにおかあさんにしかられておかあさんと言ひあいするけどそんなおとうさんが大好きです。



これからもずっと見まもって長生きしてくださいね。

川北町立川北小学校 2年 玉井 慶

ぼくが「ありがとう」を伝えたいのは、お母さんとお父さん。ぼくが一年生の時に妹が生まれて、お母さんは妹の世話がたいへんでぼくと弟をかまってくれなくなった。すごくさみしい気持ちになって、わざと悪いことをしたり、言ったりしてお母さんをこまらせていた。でも、妹がだんだん大きくなると、すごくかわいくておもしろい言葉を言ってわらわせてくれたりいっしょにあそんだりできる。妹はぼくをいつも楽しい気持ちにしてくれる。お父さんとお母さんがけっこんしてなかったら、かわいい妹もぼくも弟も生まれていなかった。

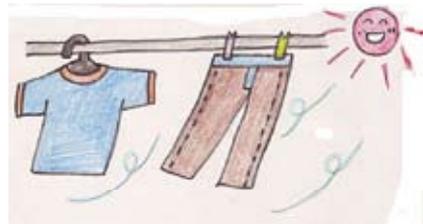


だから、お父さんお母さんありがとう。

金沢市立緑小学校 4年 要力 蓮

うちの洗たく物はいいにおいがします。洗たくする時に使っているじゅうなんざいのにおいです。これはお母さんが毎日洗たくをしているからです。ぼくたちが毎日着ている服がきれいなのもタンスにすぐ着ているように入っているのも全部お母さんがやってくれるからです。洗たくだけでなく、そうじやごはんも全部そうです。

毎日お母さんがやってくれていることをあたりまえに思っているわけではないけど、ぼくはあまりありがとうと言えません。あたり前にやることなどなくてぼくや家族のためにがんばっているお母さんに「ありがとう」といいたいです。



七尾市立高階小学校 4年 坂口 凌汰朗

じいちゃん、ばあちゃんへ

じいちゃん、ばあちゃん、いつもありがとう。

じいちゃんは柿やなし、いちじくにりんご、みかんを作ってくれます。それぞれ収穫が季節ごとにちがうので、とてもわくわくしています。今からは柿を収穫しますね。なので、柿が大好きな僕に、お手伝いさせてください。ばあちゃんは畑で色々な野菜や果物を作っていますね。僕たちもたまに手伝いに行き野菜を運ぶ仕事や果物の収穫を手伝っています。これからも手伝いがあったらぜひ呼んでください。

じいちゃん、ばあちゃん、これからも二人三脚で頑張ってください。応援しています。

川北町立中島小学校 6年 寺岡 孝将

環境・文化活動の推進

◇子どものための省エネ・リサイクル推進クイズ大会

12月25日（日）、小松市蛭川町公民館において同町子供のクリスマス会場で標記クイズ大会を開催しました。低学年用と高学年用の問題用紙にそれぞれの子どもたちが解答を記入しました。その後、役員の方が解答を説明しながら、正解者を絞り込みました。高学年用の問題はかなり難しいようでしたが、



<真剣に取り組んでいます>

楽しく終えることができました。



<よく考えろよ！>



<やった！と低学年>



<よっしゃーと高学年>



役員の方から景品をもらって喜ぶ子どもたち

2～3月の健民運動カレンダー

(H24. 1. 24 現在)

2 / 5 (日) 13:00～

平成23年度石川県子ども会連合会育成指導者研修会
会場：いしかわ子ども交流センター（金沢市）
主催：県子ども会連合会

2 / 7 (火) 9:30～

健民運動出前講座（千里浜健康クラブ）
会場：千里浜公民館（羽咋市）
主催：健民運動推進本部

2 / 25 (土) 14:00～

桜の保安全管理講習会
会場：白山市相川新町集落センター
主催：健民運動推進本部

3 / 9 (金) 13:00～

健康・体力づくり指導者講習会
会場：いしかわ総合スポーツセンターサブアリーナ(金沢市)
主催：健民運動推進本部



<せんだん>

健民運動紹介・奨励コーナー

◇石川県青少年育成アドバイザー協会の研修報告会

昨年12月10日(土)13時より県青少年総合研修センターにおいて、標記研修会がありました。内閣府が主催した中央研修会(東京都)及び中部ブロック研修会(岐阜県)に参加した会員が報告をしました。会員相互に資質向上を図り、研修内容を共有化できた有意義な報告会となりました。



内閣府の研修目的は、子ども・若者に係る諸問題の状況を明確にし、新たな変化にも対応できる中核的指導者を育成し、子ども・若者育成支援の現場を充実・強化させることです。

県民ボランティアセンターだより



収集物(1月分)<使用済み切手> 計7件

長寿社会課、障害保健福祉課、教育委員会庶務課、スポーツ健康課、
金沢中央郵便局、犀川河川愛護会事務局、粟崎公民館

ご協力ありがとうございました。ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

お知らせ

NPO会計等の専門相談窓口(無料)のお知らせ

日々の記帳から決算、登記の変更、雇用保険の手続きなど、税理士等の専門家による無料相談を行っています。

日時 平成24年3月までの、毎月第1・第3水曜日(18:00~21:00)

場所 石川県NPO活動支援センター「あいむ」 TEL:076-223-9558

(金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階)

相談料 無料

お申込み(予約) お問い合わせ

〒920-0865 金沢市長町1-3-40

NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター
(i-ねっと)

TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674

E-mail: ishikawa@innetnp.com

石川県NPO活動支援センター

〒920-0961

金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

HP:<http://www.ishikawa-npo.jp/>



薫 風

「石川こども芸術祭2011」に参加して！

石川県リズムダンス協会 会長 太田 章子

総合型地域スポーツクラブ・パモスはくい「ジュニアリズムダンス教室」は、昨年8月7日北國新聞赤羽ホールで開催されました県芸術文化協会設立15年記念、石川こども芸術祭2011～こども伝統芸能劇場～に出演しました。石川県の文化を支える子どもたちのステージで、参加した各団体の子どもたちが日頃の成果を発表しました。

出演団体は、県太鼓連盟、県吟剣詩舞道総連盟、県邦楽舞踏特選会、北陸舞踏協会、県洋舞連盟、いしかわ子ども交流センター、県民謡協会、そして県リズムダンス協会です。

出演した各団体の子どもたちの演技は、どれもみな素晴らしく、一人ひとりのかわいしぐさと若さ溢れるパワーは、私たち見る大人に大きな感動と心あたたまる気持ちを与えてくれました。

リズムダンスの子どもたちも「マル・マル・モリ・モリ！」や「キラキラ」等、今の世相を反映した曲や子どもたちの大好きな曲を元気一杯心を込めて踊りました。年長さんから小学6年の27名で、年齢の幅も広く、上級生が下級生の世話を進んでしてくれます。休憩時間は、にぎやかな笑い声が絶えませんが、いざダンスとなると子どもたちの一人ひとりの目はキラキラと輝き、小さな体を精一杯動かしてリズムに合わせて踊る姿は、自信に満ち、時には笑顔まで輝かせてくれます。

子どもたちに、このような大きな発表の場を作ってくださった県芸術文化協会をはじめ関係者の皆様には心から感謝したいと思います。



< H23.8.7 北國新聞赤羽ホールに於いて「ジュニアリズムダンス教室」発表 >

毎月7日は「健康の日」です。
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～